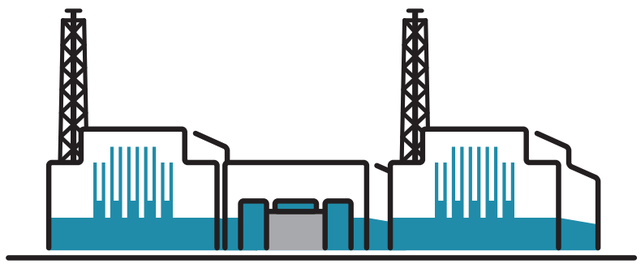
広 告

THINK!
ニッポンの
エネルギー
08

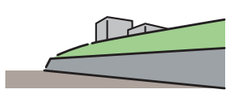
原子力発電所の安全対策

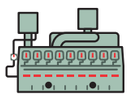
東京電力福島第一原子力発電所の事故以降、
日本の原子力発電所は、安全性の抜本強化のため、
何重もの安全対策を新たに講じています。
今回は、原子力発電所の対策や、取組に対する
海外の専門家による評価を紹介します。

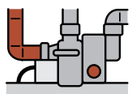


様々な事態を想定して 多重に備える

事故の教訓を踏まえ、極めて厳しい自然災害を想定し、地震・津波の想定の引き上げや非常用電源の強化などの対策を実施しています。

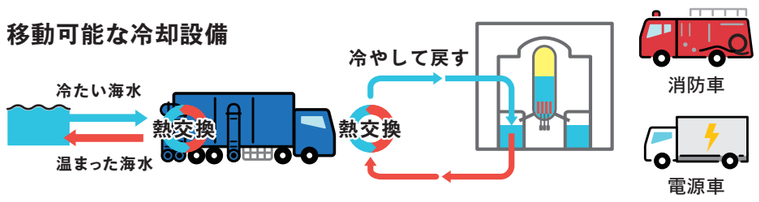

防潮堤


非常用ディーゼル発電機


非常用炉心冷却装置

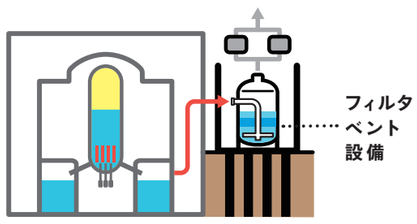
様々な事態を想定して 多様に備える

また、追加的な電源車の配備や、移動可能な冷却設備を追加するなど、福島第一原子力発電所の事故以前よりも安全対策設備を多様化しています。※沸騰水型軽水炉（BWR）の場合



事態が収束しない場合にも備える

それでも放射性物質の放出が必要という過酷な事態も想定し、放出口に新たに、原子炉の格納容器内の圧力を下げ、放射性物質を閉じ込める機能を維持するためのフィルタベント設備を設置しています。



外部の目も取り入れて、安全性の向上に向けて取り組む

こうした事業者個々の安全対策に加え、IAEA（国際原子力機関）による客観的な評価など、「外部の目」も取り入れる取組も行っています。
さらなる安全性向上に向けて、このような取組を継続して行うことが重要です。

柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所については、2024年3～4月の調査で、核物質防護システムの複数の分野で継続的な改善が確認されました。また、さらなる改善に向けて、社内ルールの徹底や保全計画の運用等について助言を受けました。

（IAEAによるエキスパートミッションの様子）

美浜発電所

美浜発電所3号機については、2024年4月の調査で、プラントがレビュー結果に対処し、安全な長期運転に向けて残りのすべての活動を計画どおり実施することを奨励するという講評を受けました。

（IAEAのSALTOチームによる調査の様子）

「日本のエネルギー情勢と柏崎刈羽原子力発電所に係る説明会」を新潟県内の市町村各地で開催いたします

1/28（火）18:30 開始 田上町交流会館 南蒲原郡田上町大字原ヶ崎新田3072-1	1/29（水）18:30 開始 加茂市産業センター 加茂市幸町２丁目2-4	1/31（金）18:30 開始 胎内市産業文化会館 胎内市新和町2-5

※上記以外の開催場所・日程でも順次説明会の実施を予定しております。今後の開催予定は右の二次元バーコードからご確認下さい。新潟県にお住まいの方に向けた説明会です。事前申し込み不要・入場料無料です。会場・時間等は変更となる場合がございます。

経済産業省
資源エネルギー庁

お問合せはこちら
03-3501-1873

説明会に関する詳細は、以下URLまたは ニッポンのエネルギー で検索
https://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/nuclear/001/event/nippon_ene/index.html

H511×W378mm